

■ マテリアリティ(重要課題)

当社グループでは、2030年の企業像「グローバルに変化する社会と向き合い、社内外の知を融合することで、人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値を提供する企業グループ」「培った信頼と磨き上げた技術によ

り、情熱をもって未来を切り拓く、一流の挑戦者集団」を実現するために、取り組むべきマテリアリティを特定しました。

マテリアリティ特定プロセス

社会課題・社会変化の把握



当社グループの長期経営計画ならびに中期経営計画を踏まえたうえで、SDGsやESG(環境・社会・ガバナンス)関連の評価指標やガイドラインなどを参考に、500超におよぶ社会課題や社会変化に関するキーワードを洗い出しました。

キーワードの集約



社会課題や社会変化に関するキーワードをテーマ別に分類して、29項目のマテリアリティ要素に集約しました。

当社グループへの影響整理



29項目のマテリアリティ要素について、現在~2030年頃に予測される社会的な課題や変化の内容を明らかにしたうえで、当社グループにもたらされる影響について整理しました。

自社での重要度評価



当社グループにもたらされる影響を踏まえ、自社にとっての重要度とステークホルダーにとっての重要度の2つの観点から、マテリアリティ要素の重要度について、自社で評価を行いました。

有識者との意見交換



マテリアリティ要素について、各分野に高い知見を持つ有識者と意見交換を行い、ステークホルダーの視点を加味しました。

マテリアリティ・マトリックスの策定



ステークホルダーの視点を踏まえ、社内で議論を重ね、マテリアリティ・マトリックスを策定しました。

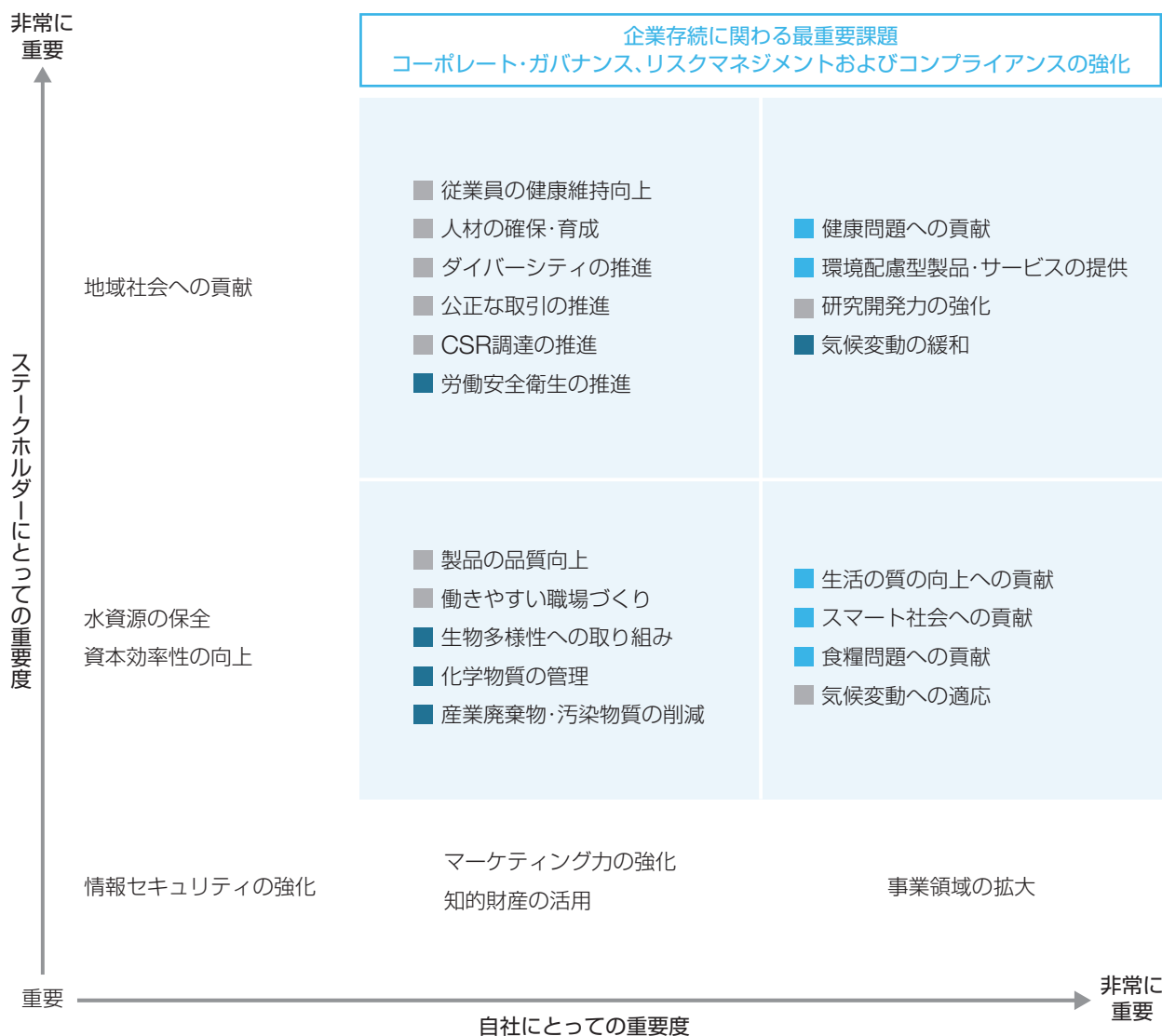
マテリアリティの特定(取締役会決議)



マテリアリティ・マトリックスをもとに、CSR委員会で議論を行い、19のマテリアリティを特定しました。その結果を取締役会で決議しました。

マテリアリティ・マトリックス








<p>■ 人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値の提供</p>	<p>5つのコア技術をベースとする4事業を通じて、人々の豊かな暮らしに役立つ新たな価値の提供を目指します</p>
<p>■ 自社の事業基盤の強化</p>	<p>多様化・高度化する市場の要求への対応力を高めるために、事業基盤の強化を目指します</p>
<p>■ レスポンシブル・ケア活動の継続的強化</p>	<p>日産化学レスポンシブル・ケアマネジメントシステムの運用を通じて、環境・健康・安全確保の強化を目指します</p>



マテリアリティ

マテリアリティとKPI

マテリアリティ	要素	当社の主な取り組み
人々の豊かな暮らしに役立つ 新たな価値の提供 	健康問題への貢献	医療ニーズに対応する医薬品、 先進医療に貢献する生体材料の創出
	環境配慮型製品・サービスの提供	ディーゼル車の排出ガス浄化用の高品位尿素の販売、 未利用エネルギーの活用に資する環境発電材料の開発
	生活の質の向上への貢献	ペット用動物用医薬品原薬の探索と提供、 飲料水用殺菌消毒剤の販売
	スマート社会への貢献	IoTに必要なセンサー材料、データ通信の大容量・ 高速化に寄与する配線材料の開発
	食糧問題への貢献	農作物の収量拡大と農業の省力化につながる農薬の供給、 動物用医薬品原薬の家畜への展開
自社の事業基盤の強化 	研究開発力の強化	コア技術の深化、オープンイノベーションの推進、 AI等新技術の導入
	製品の品質向上	品質方針に基づく継続的なマネジメントシステムと 業務の改善
	従業員の健康維持向上	健康推進委員会による健康推進施策の検討、 メンタルヘルスチェック
	働きやすい職場づくり	ワークライフバランスの推進、ハラスメント対策、 育児・介護支援
	人材の確保・育成	教育・能力研修の提供、海外留学制度の導入
	ダイバーシティの推進	女性の活躍推進、外国人留学生の採用、障がい者雇用の推進
	公正な取引の推進	下請法やインサイダー取引規制に関する社内教育の実施
	CSR調達の推進	取引先へのCSRに関する質問票調査、監査の実施
	気候変動への適応	自然災害による工場の操業不能に備えたBCPの策定
レスポンシブル・ケア活動の 継続的強化 	気候変動の緩和	設備改善による省エネルギー化、 GHG(温室効果ガス)排出量削減につながる燃料転換
	労働安全衛生の推進	労働安全マネジメントシステムの確立、 安全への設備投資の実行
	生物多様性への取り組み	ビオパークの運営、 NPO法人「黒浜沼周辺の自然を大切にする会」の支援
	化学物質の管理	化学製品の全ライフサイクルにおける 人の健康や環境への悪影響の最小化
	産業廃棄物・汚染物質の排出削減	廃棄物の再利用や再資源化、 中間処理方法の変更による最終処分量の削減

2021年度目標(KPI)	2018年度実績	SDGsとの関連
医薬開発候補剤のライセンスアウト 新規医療材料の上市	—	 
新たな環境配慮型製品の上市	—	 
飲料水用殺菌消毒剤による貢献: 2,500千人/年	900千人/年	 
データ通信の大容量・高速化に対応する 光配線材料の上市	—	
農業化学品事業部売上高18年度比10%増	18年度売上 62,724百万円	
21年度までの3年間における特許出願数1350件	454件出願	 
21年度までの3年間における製造委託先への 監査実施率80%	25.6% 監査実施	 
ホワイト500の継続取得	2017年より2年連続で取得	 
年次有給休暇取得率80%以上	75.8%	 
一人当たり研修時間 17年度比10%増	11時間(17年度同等)	 
総合職に占める女性社員比率 10%	8.9%	
21年度までに、本体全箇所での法務相談会実施	5%	
CSRアンケート調査カバー率 90%(金額ベース)	57%	
経常利益50%を占める製品のBCP策定	BCP策定の対象製品見直しおよび 実施計画立案	
GHG排出量 13年度比△20% エネルギー原単位 13年度比20%改善	GHG排出量 13年度比△20% エネルギー原単位 13年度比△17%	 
休業災害ゼロ	休業災害ゼロ	 
本社・工場・研究所が所在する全ての都道府県での 取り組み100%	67%	
全製造量の90%を占める製品の 化学物質安全性要約書作成	67%	
リサイクル率 99.5%以上 排ガス(SOx + NOx)排出量 13年度比△75%	リサイクル率 97.7% 排ガス排出量 13年度比△55%	